

## 令和5年度 学校評価 自己評価書(1学期)

### 1 学校の重点目標(最重点課題:① 学力向上 ② 自己肯定感・自己指導能力向上 ③ 健康・安全・実践力向上)

○「分かる・できる」授業実践	○ 継続的で効果的な気力・体力づくり
○ 個を大切にできる教育の推進	○ 健康な生活習慣の育成
○ 職員研修の充実	○ 安全指導と危機管理
○ 豊かな人間性を育む教育活動の推進	○ 家庭との連携
○ 生徒指導の充実	○ PTA・地域・関係機関との連携
○ 人権同和教育の充実	○ 業務改善の推進

### 2 課題と改善策

「そろえる」行動		職員	昨年度比	評価結果と改善方策
<b>I 進んで考える子【確かな学力－創造性－考える力】</b>				
1	休み時間の過ごし方指導(学習の準備等)に努めたか。	3.40	0.11	○休み時間の指導①, 返事の指導④は回答者全員3以上の評価で, 高い意識をもって指導がなされている。 ●ICT機器の活用率⑦が前年度に比べ大きく落ちてきている。2学期以降, ロイロノートやデジタルドリルnavimaが, どの場面でのように活用できるか全職員で具体的に確認し, 効果的に活用していく必要がある。 ●家庭学習の取組⑩が落ちている。校内研修の家庭連携領域で, 内容や見届け等について実態を確認し, 具体的に家庭とどのような連携を図っていくか検討して必要がある。
2	学習姿勢や鉛筆の持ち方指導に努めたか。	3.04	-0.08	
3	話を聞く姿勢, 態度の指導に努めたか。	3.19	-0.22	
4	名前を呼ばれたら「はい」と, しっかり返事ができる子供の育成に努めたか。	3.31	0.13	
5	子供が, 自分の考えを最後まではっきり発表することができる手立てを工夫したか。	3.08	-0.21	
6	子供の自己肯定感が高まる授業づくりに努めたか。(UDの学習環境, 個別指導, 習熟度別指導, 支援員の協力等)	3.15	-0.26	
7	授業の中で, 効果的にICT機器(特に, タブレット)を活用することができたか。	2.88	-0.27	
8	授業の中で, ノート指導を充実させ, 書く場(自力)を確保しながら学び合いを深めさせたか。	3.04	-0.17	
9	授業の中で, 発表の場(集団)を確保し, 自分の考えを論理的に説明できるよう工夫したか。	2.92	-0.20	
10	学習の「めあて」や「まとめ」を板書し, 習熟を図った後, 振り返りの場を設定したか。	3.08	-0.16	
11	家庭学習目標時間を達成するための手立てを工夫したか。(内容の工夫, 見届けも含め)	2.96	-0.37	
12	子供が見通しをもって生活し, 忘れ物をしないような手立てを工夫したか。	2.80	-0.32	
<b>II 他を思いやる子【道徳性－社会性－人と関わる力】</b>				
13	子供が, 意識して児童会目標を達成しようとするための手立てを工夫したか。「先手あいさつ だれにでも言葉遣いに気を付けて みんなで仲良く つくしの子」	2.84	-0.19	○道徳教育⑮⑰については, 指導要領の意図を踏まえた指導(生命尊重, 時間の確保)がなされている。また, 各種アンケートについても計画的に実施することができた。 ●日新公いろは歌の取組⑱は学年によってばらつきがあった。実施方法など全体で共通理解する必要がある。
14	子供が, 相手のことを思いやり, 優しい心で生活するための手立て(相互賞賛の場の設定等)を工夫したか。	3.12	-0.33	
15	道徳教育, 特別活動の充実を図り, 居場所と絆のある学級づくりに努めることができたか。(計画的に仲間づくりを進めたか。「SOSシート」や「学校たのしいーと」等を活用したか。)	3.13	-0.10	
16	時と場に応じた言葉遣いの指導(オアシスはい運動)を徹底することができたか。	3.07	-0.10	
17	子供の生命尊重の精神を高めるための手立てを工夫したか。	3.15	-0.02	
18	朝の会等での「日新公いろは歌」の朗唱や名文暗唱に取り組ませたか。	2.77	-0.70	
19	必読図書の読破や読書冊数年間学年目標達成に向けた声かけ, 教科書関連図書の紹介など, 読書指導に努めたか。	3.04	-0.37	
<b>III 最後までがんばる子【体力・運動能力－健康安全－やりぬく力】</b>				
20	「一校一運動(なわとび・ちよれ・遊具サーキット)」や朝の体力づくり, 休み時間, 昼休みでの外遊びの呼びかけや指導に努めたか。	2.70	-0.51	○給食指導強調週間の取組や, 栄養教諭の各学級への食に関する授業等を通して, 子供の望ましい食生活への関心や意識が高まっている。 ⑳ ●なわとびカードの活用等㉑, 具体的な取組を2学期以降検討していく必要がある(体育指導部による具体策の検討)。
21	子供が, 学習や体力づくりに粘り強く取り組むための手立てを工夫したか。(取組カードの活用等)	2.61	-0.63	
22	給食指導(食事のマナー, 好き嫌いのない食生活)や, 食に関する指導(毎月19日の食育日記の取組等)の計画的な実施に努めたか。	3.27	0.07	
23	歯みがき指導, う歯治療を促すための指導に努めたか。	3.22	0.04	
24	危険予測回避能力を育成するための手立てを工夫したか。(教室での過ごし方, 廊下歩行, 各種避難訓練, けが防止, 郊外でのKYT指導等)	3.27	-0.08	
25	子供が, 「集団登校のきまり」や「交通安全合言葉(5つの原則)」を守って, 仲よく安全に登下校するための手立てを工夫したか。	3.24	-0.02	
26	定期的に施設の安全点検を実施し, 修理箇所等について迅速・適切に処置が行われたか。	3.29	-0.18	
27	子供が, ボランティア活動に積極的に取り組むための手立てを工夫したか。(JRC活動含む)	2.74	0.00	
28	「節電・節水」等, 子供の環境保全への意識を高めるための手立てを工夫したか。	3.17	-0.13	
<b>IV その他 ※昨年度実施していない項目については, 1学期比の部分で斜線で表示している。</b>				
29	教育公務員として, 服務規律を守り, 信頼される学校づくりに努めたか。	3.54	-0.05	○服務規律の厳正確保㉒への意識が高い。セルフチェックシートの活用や職員研修(服務指導)が効果的に働いていると考えられる。継続していきたい。
30	「報・連・相」を徹底し, 職員間, 保護者, PTA, 地域, 関係機関との連携を深められたか。	3.43	-0.01	
31	学校や個人での業務改善の可視化や共有化が図られ, 日々の職務に効果的に表れていたか。	2.96	0.08	
32	子供は夢と希望をもっているか。	3.04	-0.20	●学期始めのめあて設定, 学期末の振り返り, 学校行事への取組等, キャリア教育㉓を意識した指導が必要である。
33	子供は自立してきているか。	2.59	／	
34	あいさつがしっかりできているか。	2.68	／	●そうじの仕方㉔については, 全職員が同じバクトルで粘り強く継続して指導していく必要がある。
35	そうじの仕方が身に付き, しっかりと取り組んでいるか。	2.82	-0.33	
36	家庭学習を充実させるための手立てを工夫したか。	3.04	／	
37	保護者と連携を密に図れたか。	3.31	／	
38	2運前着席, チャイム間黙想を徹底できたか。	2.68	／	